

赤ちゃん連れに やさしい空間づくり ガイドブック



福島県保健福祉部児童家庭課

はじめに

急に買い物に行かなければならなくなった時、あなたは何を持って行きますか？
久しぶりに会う友達と食事に行く時、普段の買い物に行く時、あなたはどこに行きますか？
どんなお店に行きたいと思いますか？

小さなお子さんを持つママは、赤ちゃん用のたくさんの荷物と赤ちゃんを連れて、
もしかしたらベビーカーで出かけるかもしれません。

外出先での急な授乳やおむつ替えに備えて、外出の時間帯を考え、おでかけする先
を選び、様々な準備や調整をして出かけます。

大人だけの外出だったら何の不都合もなく準備もいらぬのに、赤ちゃん連れのお
でかけは想像以上に大変です。

そして、本当はママ達も“日常の買い物だけでなく、赤ちゃんとおでかけや
自分のためのおでかけも楽しみたい”と思っています。

このガイドブックは、小さなお子さんを連れたママが、もっと気楽に、安心して赤
ちゃんとおでかけを楽しんでもらえる福島になるように、既存の赤ちゃんスペ
ースをより使いやすいスペースにする際の参考にしてもらいたいという願いを込めて
作成しました。

今あるおむつ替えや授乳のスペースは、ちょっとした工夫で小さなお子さん連れにと
って、とても快適な空間になります。

小さなお子さんを連れていても、行きたいお店に行けるように。
福島での赤ちゃんとおでかけが、もっと楽しいひとときになるように。

施設の設計や改築等に携わる方々の参考となれば幸いです。

福島県子育て支援担当理事
小林 武正

Contents

【赤ちゃんとおでかけ】ふくしま事情 p4

1 外出の現状 p4

2 外出時の荷物 p7

利用者のニーズ I

おむつ替え空間 p8

先駆的事例 中合福島店 p11

利用者のニーズ II

授乳スペース p12

先駆的事例 藤崎本店 p15

既存施設を改装する場合の例 p16

先駆的事例 エスパル福島店 p18

【参考資料】 p19

本ガイドブックにおける乳幼児の呼称について

- 児童福祉法では出生から満1歳未満までを「乳児」、満1歳から小学校就学年齢までを「幼児」としています。本ガイドブックでは、乳幼児連れの外出時に必要な施設整備の考察を行う観点から、授乳やおむつ替えなどのケアが必要な乳幼児を「赤ちゃん」と呼称し、その対象年齢は0歳から3歳未満を想定しています。



【赤ちゃんとおでかけ】 ふくしま事情

1 外出の現状

保護者が、赤ちゃん連れで外出をはじめる時期は、赤ちゃんの月齢 2～5 か月頃から。ママの産後の体力が回復しはじめ、赤ちゃんの首が座りはじめるので、安心して外出できるようになります。

特に 24 時間育児にかかりきりのママにとって、スーパーやコンビニなどでの日常的な買物、散歩や実家への訪問などは、育児のストレスを発散し、気分転換できる貴重な時間となります。

しかし、一方で外出先での不安や心配、不便さも抱えています。ふくしまに暮らす子育て中のママ・パパ達は赤ちゃん連れの外出をどのように感じているのでしょうか。



Q 赤ちゃんとのおでかけ頻度は？

●食料・日用品など生活必需品の買い物の場合…

2～3回 / 週

滞在時間：30分～1時間以内

●気分転換、散歩などリフレッシュ外出の場合…

ほぼ毎日

滞在時間：1～2時間以内



Q 利用する頻度の高い施設は？

1. 近所のスーパー
2. デパート・ショッピングモール
3. 公園・子ども向け施設
4. その他 ・家族や友人とファミリーレストランへ
・休日に家族でアウトレットへなど

・デパートに行くこともあるが、日常的にはスーパーの利用が多い。
・休日は、夫のサポートがあるため、少しは自分の買いものができる。
・荷物もあり手間取るため、おむつ替えや授乳のタイミングを逆算してでかけることもある。



Papa・mamaの ホンネ* もっと! ① 『外出は、赤ちゃんだけでなく 上の子も一緒に多い』

上の子がいる場合は、ちょっと目を離れたときに、その場を離れたり、誤ってケガをしないよう、パパ・ママはいつもハラハラしています。

- スーパーなどで店員さんが一時的に上の子を見ていてくれるサービスが欲しい。
- 買い物カートが使いづらい。走り回らせないよう、子ども用があれば便利。
- トイレで赤ちゃんにかかりきりの時、上の子がドアを開けてしまうことも。開けにくい扉があると助かる



Q 外出時の移動は？ベビーカーの利用の有無は？

赤ちゃん連れの外出は**車**の利用がほとんど。

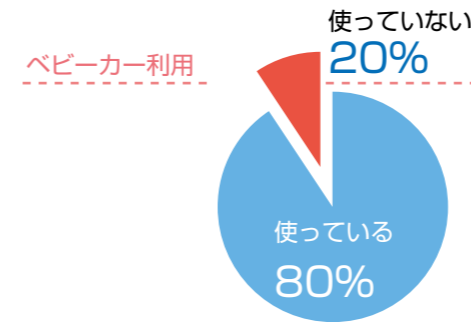
理由は、

「ベビーカーなど荷物を積める」

「移動がしやすい」などのほか、パパ・ママの多くが

『おむつ替えや授乳など急な場合に利用できる』

と回答しました。



・普段の買い物は近所で、短時間に用件を済ませるようにしているため必要を感じない。

・駐車場で、車からのベビーカーの出し入れに手間がかかるため、おんぶひもや抱っこひもを利用している。

Q 赤ちゃん連れで食事することは？



ない > ある

- ・上の子もおり、1人で見るのは難しいので、赤ちゃんが小さいうちは諦めている。
- ・外食することはあるが、ランチの時間はあえて避けるようにしている。
- ・手料理以外は、ファストフードのドライブスルーやお惣菜でガマンしている。



Papa・mamaの ホンネ* もっと! ② 『以前のように、たまには カフェランチを楽しみたい』

赤ちゃんを抱えたママのほとんどが「自分1人で子ども連れのランチやティータイムはムリ」と回答。たまには、周囲に気兼ねすることなく食事を楽しみたいと考えています。

- 子どもの声が大きいと他の人に気を遣う。空間が分けられているといい。
- 夫や両親との外出時以外は、子ども連れでお店に入りにくい。
- 飲食の席から見えるところにキッズスペースがあると安心。



Q 外出先で不便さを感じるのは？

1. おむつ替え

台数が少ない

混んでいる

高さがあわない

荷物が置けない

もっとも不便さを感じるのは、外出先でおむつを替えるとき。女性用トイレの一角にベビーシートを備える施設が増えていますが、実際に利用するママのなかには『使いづらい』『衛生的ではない』という理由から、自分の車に一旦戻って替えているという声も多く聞かれました。

2. 授乳

場所がない

混んでいる

目隠しがない

休日などパパ・ママ揃っての長めのおでかけでは授乳の回数も増えるため、事前に、目的地や途中で授乳できる場所を確認する人が多いようです。授乳スペースの有無だけでなく、上の子が遊んで待てるスペース、目隠しなど環境が整っていない場合、おむつ替えと同様に、自分の車で授乳することも多いようです。

3. トイレ

動きにくい

汚れている

ベビーキープがない

荷物が置けない



最近では、多くの施設で多目的トイレが完備されており、赤ちゃん連れのママのほとんどは多目的トイレを利用する機会も多くなっています。しかし混んでいるときは気を遣うなど、意外にも不便さも感じています。さらに衛生面での不安や、上の子への配慮など、改善ポイントは多くありそうです。

● 赤ちゃんとおでかけの際、ママたちがもっとも気にするのは [おむつ替え] や [授乳] のこと。

● スペースの有無はもちろん、

きれい

あんしん

より快適

が、ポイントです。



2 外出時の荷物

赤ちゃん連れは大荷物！

ベビーシートや授乳室、多目的トイレがあっても、利用を避けてしまう場合があることを知っていますか。ベビーカーを押し、マザーズバッグのほかに自分のバッグを肩にかけ、買い物袋を持ち、さらに、上の子が小さければ手を離すことはできません。他に家族がいれば、荷物をもってもらうことはできますが、ママ一人で対応することも多いのです。



ほとんどが女性用トイレや女性専用室で行われる「おむつ替え」や「授乳」では、**安心して荷物を手から離せる広さや工夫が求められています。**

Q おでかけ時の荷物の中身は？

外出時に持ち歩くバッグの中身を教えてくださいました。



ママさんバッグは荷物がぎっしり！



荷物の中身 (乳児)



荷物の中身 (1歳くらい)

上の子の荷物を合わせると

約 **4**キロ以上に！

2Lペットボトル2本と同じ重さ。



平均的な手荷物の重量は…
赤ちゃん1人分で約 **2**キロ！

使いやすさのポイントは「荷物の手離れ」のよさ。

おむつ替えや授乳、トイレを利用する際、赤ちゃん連れのママは「荷物の置き場」にこんな悩みを抱えています。



「荷物を側に置いておむつ替えしたい」

肩にバッグを掛けたままのおむつ替えは不安定。かがんだり、赤ちゃんに背を向けず必要なものをバッグから出し入れできれば、ママは赤ちゃんから目を離すことなく、安心しておむつ替えができます。



「広いのに使いにくい?! 多目的トイレ」

広さがあるため、赤ちゃん連れのママたちの利用頻度が高い多目的トイレ。しかし現実には「ベビーキープがあっても便座との距離が離れているので赤ちゃんを抱えて用を足す」など戸惑うことも多いようです。

「ベビーカーの置き場所に困る」

おむつ替えや多目的トイレの利用の際、「ベビーカーが入らない」「入れても身動きがとれない」などの理由から、トイレの入り口付近に外置きすることがあるという声が聞かれました。

利用者のニーズ I おむつ替え空間

“ある” だけではない 女性目線の使いやすさがカギ

「日常的な買い物も、おむつ替えの環境が良いショッピングモールやスーパーがあれば、繰り返し利用する」「初めて行く施設は、事前に赤ちゃん連れへの配慮がされているかどうかをチェックする」との声が多数。ベビーシートを備える施設は増えていますが、利用するママたちは、「ある」だけではない、使いやすさや安心感、快適さを求めています。



悩み 1 「台数が少なく、混んでいます」

滞在時間が長く、人も多いデパートなどは、順番待ちの間に赤ちゃんがぐずったり、次の人を待たせていると焦ってしまうため、利用者の多くが「おむつ替え台は2台以上あったらいいのに」と考えています。



△ママの背丈にあわせて利用できる、高さ違いのベビーベッドを2台以上揃えた例。動きにくさを軽減すれば、おむつ替えの時間も短縮でき、混雑解消にもつながる。



悩み 2 「使用済みおむつは持ち歩きたくありません」

使用済みのおむつを捨てる場所がなく、手持ちのビニール袋に入れて持ち帰る人がほとんど。マザーズバッグの中には、赤ちゃんの離乳食やミルクなども一緒に入っていることも。汚物の持ち歩きが少なくなれば、施設の利用はより快適になると考えられます。



おむつ専用ゴミ箱設置の例。

悩み 3 「横型のおむつ替え台は使いにくい」



省スペースに適した横型ベビーシートですが、おむつ替えの際、半身の動きが制限され動きにくく、赤ちゃんの動きによっては不安定さを感じるなど利用者は少々使いにくさを感じています。壁側に赤ちゃんの頭を向ける縦型なら、不意の動きにも対応しやすく、他の人の視線もあまり気になりません。



縦型タイプのベビーシートなら、左右にゆとりがあるため赤ちゃんのお世話がしやすく、安心しておむつ替えができる。

さらに
プラス!

[おむつの自販機]



緊急な時に、1枚単位でも買えるとうれしい。

[手洗い場] 手を洗える場所がほしい。

ハンドソープや除菌シートがあればもっと便利。

Papa・mamaの
ホンネ*

もっと! ③ 『男性用の空間に 赤ちゃん配慮の設備がない』

平日は「奥さん任せ」が多い男性陣も休日にはイクメンに変身。ところが、赤ちゃんのお世話をしたくてもできない悩みも抱えています。

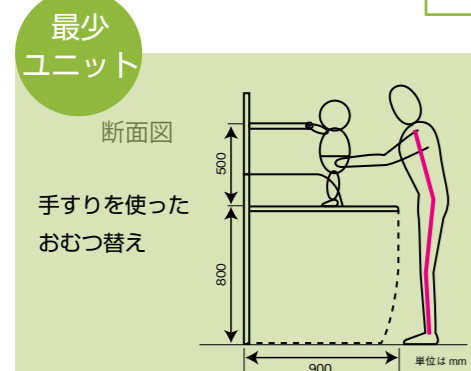
- 授乳中は上の子と待機。他の利用者に気を遣わずに待てる場所があればいい。
- 手伝いたくても男性用トイレにおむつ替えスペースがない。
- 男性用トイレで、洋式便座のフタに立っさせ、おむつを替えることもある。



こんな配慮があるとウレシイ！

【おむつ替え空間の「きれい」「あんしん」「快適」ポイント】

- きれい** 空間の衛生管理はもちろん、汚物を廃棄できる場所や手を洗うためのシンクなどの設備が望まれています。
- あんしん** おむつを替える保護者の動作を考慮したベビーキープの配置や、月齢にあわせた手すりの設置などの工夫があれば安心です。
- 快適** ベビーカーが無理なく動ける空間スケールのほか、荷物の適切な置き場も大切なポイントです。



きれいな安心快適 **Topix①**
ポイント 赤ちゃんの動きを考え手すりやクッションでガード

女性建築士 佐藤玲子さん

数台のシートが確保できる一定の広さに加えて考えたいのが、おむつを替えている最中の赤ちゃんの安全です。赤ちゃんは3カ月を過ぎたころから手足をよく動かし、両足を蹴り上げたり、両腕をバタバタさせるようになるため、座面だけでなく、頭の周囲や側面ボードにクッションを置くなどの工夫を。また、立ちしたままのおむつ替えに対応できるよう手すりを設けると良いでしょう。

先駆的 事例 中合 福島店

ベビー休憩室内のほか、乳幼児設備付の多目的トイレを改装した



わかりやすい表示 各フロアのサイン。一目で機能がわかりやすく表示されている。

家族用いす ベビー休憩室にあり、おむつ替え時や授乳中、家族が待てるスペース。

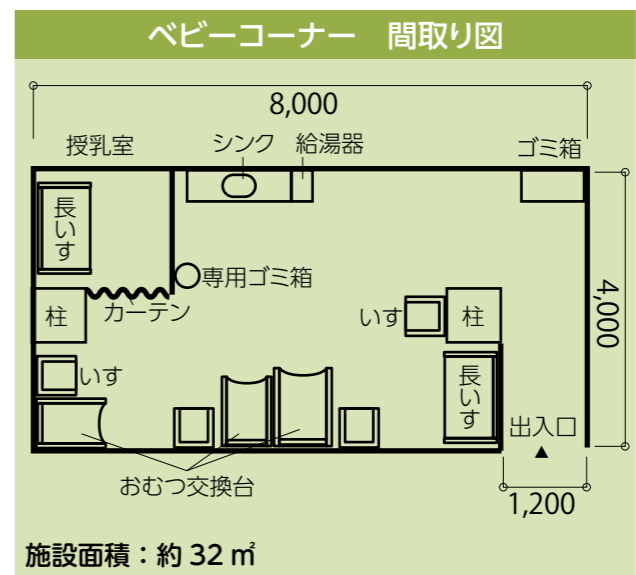
洗面台まわり 専用ゴミ箱を配置してあり、使用済みおむつを袋に入れ、廃棄後手洗いが可能。鏡脇の棚には自由に使えるハンドソープやハンドクリーム・消臭剤なども用意。



縦型ベビーベッド 高さ違いのベッドが3台あり、配置も並列にせず、側面の空間を確保するなど利用者が動きやすいよう工夫されている。

多目的トイレの乳幼児設備 ベビーシート・おむつ用ゴミ箱・手すり付きトイレ・荷物フック。ベビーキープは、便座から手の届く範囲に配置されている。

女性用トイレ内の乳幼児設備 洋式トイレの1つにベビーシートを設置することで、小さな空間でもおむつ替えを可能にしている。おむつ用ゴミ箱も設置している。



その他の施設詳細

おむつ替え台(着せ替え)	3
イス	4
授乳専用個室	○
施設	×
授乳用温水器	○
シンク設備(温・水)	○
使用時間	営業時間内
使用済みのおむつの回収ボックスあり	



■施工会社 有限会社タカモク 〒960-2158 福島市佐原下林17 TEL.024-593-2261

■改装年:2006年

■洗面台、調乳器 施工・保守管理 株式会社東北メンテナンス 〒960-8151 福島市太平寺沖高18-1 TEL.024-546-2416

■利用者数:約50名/日

ふくしま事情

外出時の荷物

おむつ替え空間

授乳スペース

改装の例

国土交通省資料

利用者のニーズ II 授乳スペース

ママと赤ちゃんが 安心しやすらげる空間づくりを

授乳のために一定の広さを確保したベビー休憩室やキッズスペースを設ける施設が増えていきます。「パパや上の子が待つことができる」「荷物を広げられる」空間は第一条件ですが、授乳中のママの本音はもっと繊細。プライバシーの確保や、上の子がいても安心して授乳できる空間設計やサービスが求められています。



悩み 1 「他の人の視線を遮る工夫があると嬉しい」

フラットな休憩室にも、カギのかかる個室や、仕切りカーテンがあれば人の目を気にせず済むと多くのママが語っています。



カーテンで仕切る形の個室、または半個室でも、他の人の目や混雑をあまり気にすることなく、焦らずに授乳できる。



授乳時の家具の配置は、ママが壁側に正面が向くようにすればベスト。

悩み 2 「授乳中とわかるプレートがあれば安心」

安心した環境で授乳できるよう「使用中」の表示プレートがあれば望ましいという声が寄せられました。



カーテンや仕切りはあっても、[授乳中][使用中]のサインプレートを設けた施設は意外に少ない。



▲プレートのない授乳個室の例。空室の時は、ドアは常時開いている。

▲使用中。取っ手はドアの内側のみに設けられており、外からは開閉できない仕組み。

悩み 2 「上の子が遊んで待てる空間」

授乳中に、目を離せないのが上の子の動き。ちょっとした際にケガや事故が起きないように、声や目の届くところに待たせておきたいと考えています。



キッズスペース

さらに
プラス!

【給湯・給水】

長時間になるほど水やお湯の持ち歩きが大変。

「シンク」

授乳後は、哺乳瓶の洗浄や手洗いをしたい。



Papa・mamaの ホンネ* もっと! ④ 『ちょっとした工夫が 利用しやすさになると思う』

赤ちゃん連れの外出では、車を利用する人が多い。遠出をする家族も増えており、初めて訪ねる施設で、授乳室やベビールームを見つけられずに困ったことがあるという人も。



■ベビーカーのレンタルがあれば、外出時の荷物も減らすことができ便利。



■目立つところに、授乳室やおむつ替えスペースの場所がわかるサインをつけてほしい。



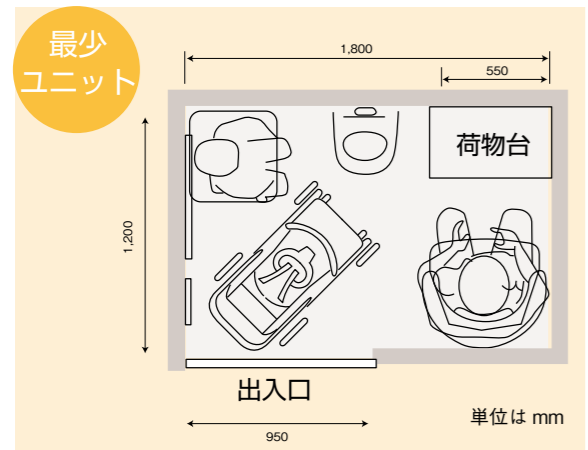
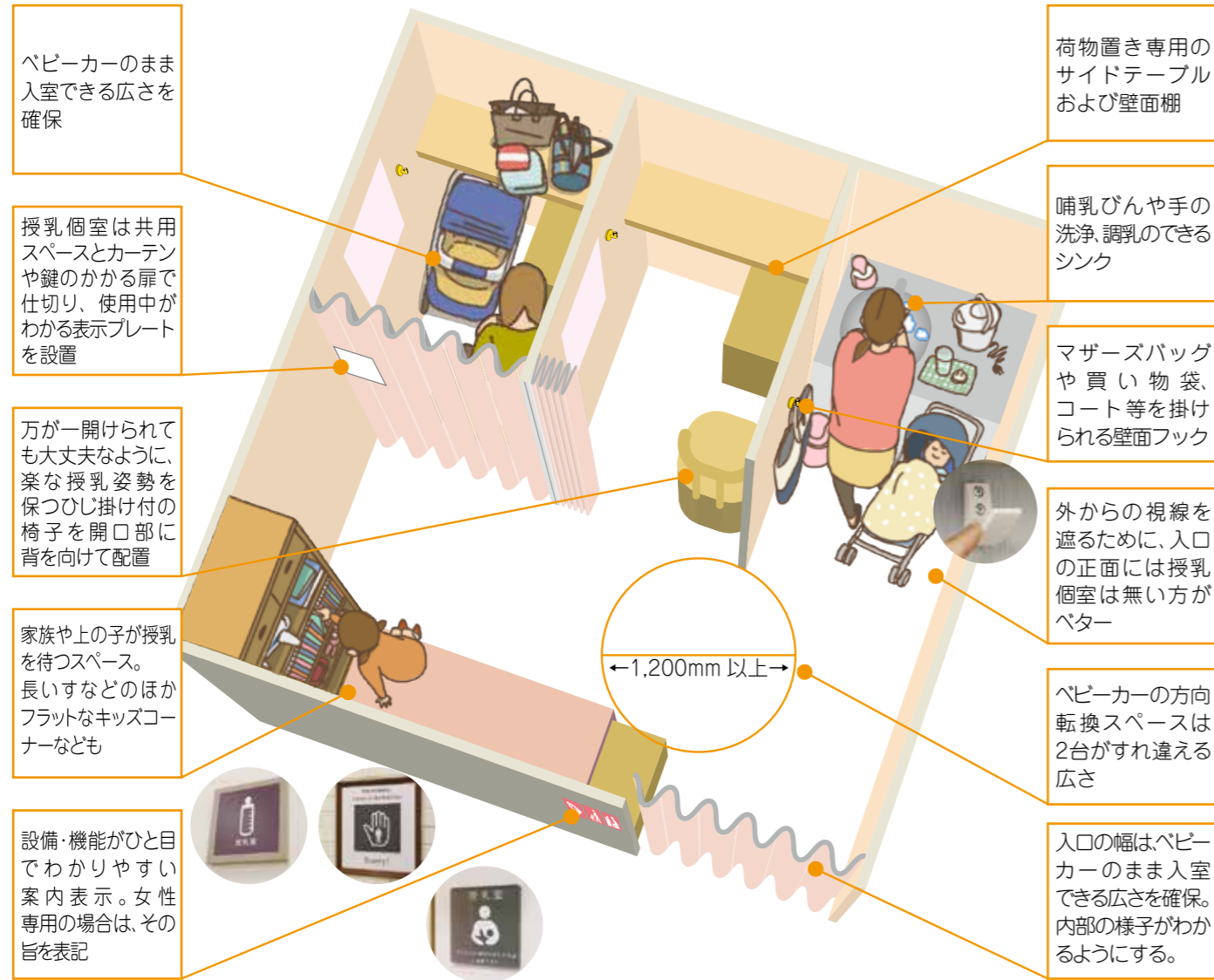
こんな配慮があるとウレシイ！

【授乳空間の「きれい」「あんしん」「快適」ポイント】

きれい 空間の衛生管理はもちろん、汚物を廃棄できる場所や手を洗うためのシンクなどの設備が望まれています。

あんしん 共用・個室ともに、授乳中、他の人の視線をふせぐカーテンなどの仕切りがあれば安心です。

快適 照明・壁紙、BGMなど、やすらげる空間演出が、快適な授乳環境につながります。



きれい安心快適 Topix® **赤ちゃんもママも穏やかな気持ちで授乳**
できるよ、リラックスした色彩や照明を

ポイント

授乳は母子の大切なコミュニケーションの機会。ママや赤ちゃんがリラックスして過ごせるよう、温かな色調でまぶしさを抑えた間接照明や、やさしい色合いのクロスやシートでやわらかな空間を作りましょう。無機質な壁面に囲まれた個室には、ポスターや館内のインフォメーションなど、授乳中のママが興味を持つ情報を掲示するのも効果的です。

女性建築士 佐藤玲子さん

先駆的 事例 藤崎本店（仙台市）

赤ちゃん連れママの声を反映。ベビールームをリニューアル

2012年9月、「ベビールーム」をリニューアルした藤崎本店。旧ベビールームはベビーカーや荷物の多いお客様へご不便をおかけすることが多かったため、利用者の声を取り入れ、温かみがあり清潔で使いやすい空間としました。



【ベビールーム入口】ドアがなく、パパも入りやすいオープンな雰囲気。



【授乳個室】使用の有無がわかるプレートやカーテン付き個室は3室。



【個室授乳室】授乳室の入口はカーテンで仕切られ、女性のみ可のプレートあり。



【レンジ・給湯給水・シンク】冷水機・78℃設定の給湯器のほか、離乳食を解凍できるレンジを完備。



【照明・BGM】室内は暖色系のライトで温かみのある空間に。赤ちゃんがリラックスできるようにオルゴールのBGMが流れている。



【共用授乳室】オープンな授乳スペースは、ベビーカーのまま入室ができる。一角にはベビーシート&おむつ専用ゴミ箱も配置。



【ソファスペース】離乳食を赤ちゃんにあげたり、親子で休憩できる広めのスペース。



【おむつ交換台】ベビーカーを横に置けるため、周りの妨げにならない。



【ドリンク自販機】子どもたちに人気のキャラクターの自販機設置。



【身長・体重計】おむつを交換したら、赤ちゃんの成長が確かめられる心遣いが嬉しい。

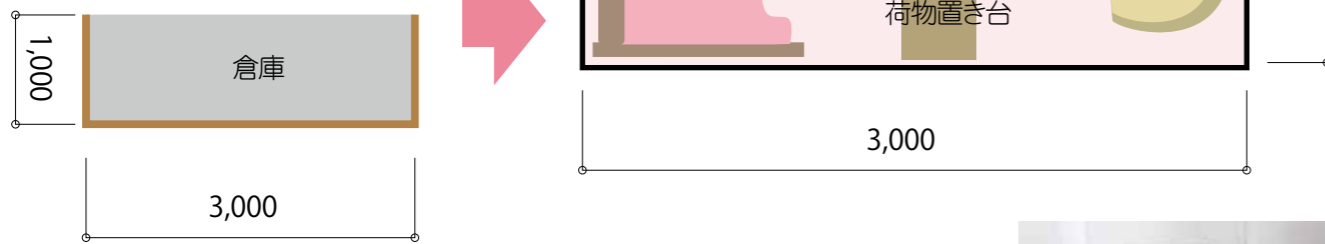
その他の施設詳細	
おむつ替台	7
授乳用イス	個室用:3 共用ソファ:2
授乳専用個室	○
施錠	—
調乳専用個室	○
シンク設備(温・水)	○
使用時間	営業時間内
使用済みおむつ回収ボックス	○



■施工会社 藤装建株式会社 〒980-0811 仙台市青葉区一番町一丁目15番25号
 TEL 022-225-0510 FAX 022-225-0233
 ■施工日数:30日

既存施設を改装する場合の例

倉庫・物入れを おむつ替え・授乳空間 にする場合

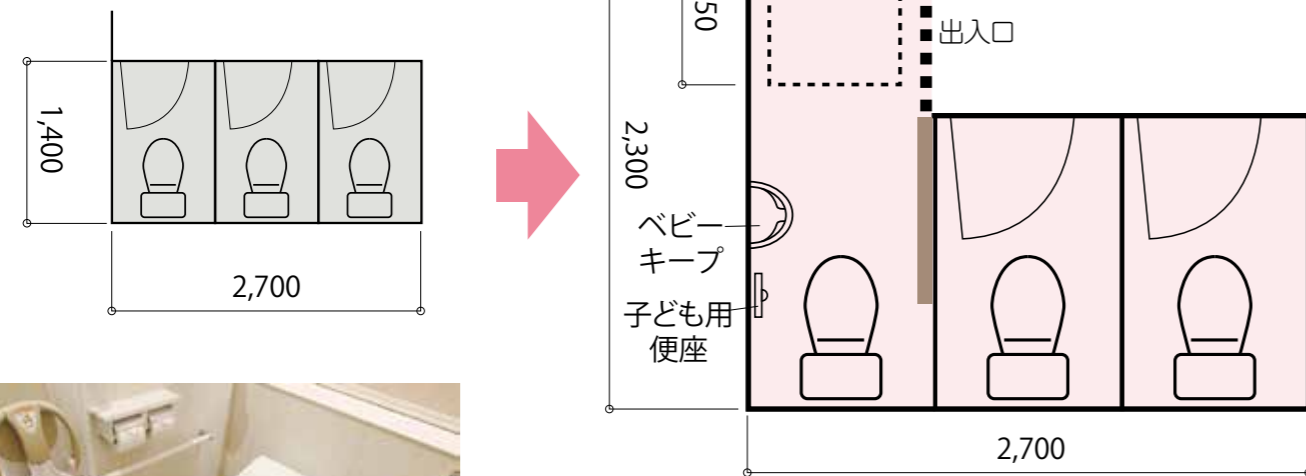


- ・授乳のためのいす、おむつ替え台、鍵が最低限必要。
- ・スペースさえあればパーテーションなどで区切ることで簡単に設置可能。
- ・お湯は近くのスタッフなどが対応(スタッフ用の給湯設備を兼用するなど)。
- ・ベビーカーは出入口付近(外)にのけるようにする。
- ・こもって出てこない、他の人が使いたいのに空かないなどに対応するため、使用の状況を管理できる目の届く場所に設置することが望まれる。
- ・待ちが多いなど授乳室ニーズが高いと判断される場合には、増設等で対応することを検討。



▲最少ユニットを基準に増設の例

洋式トイレの1ブースを 母子トイレに改装する場合

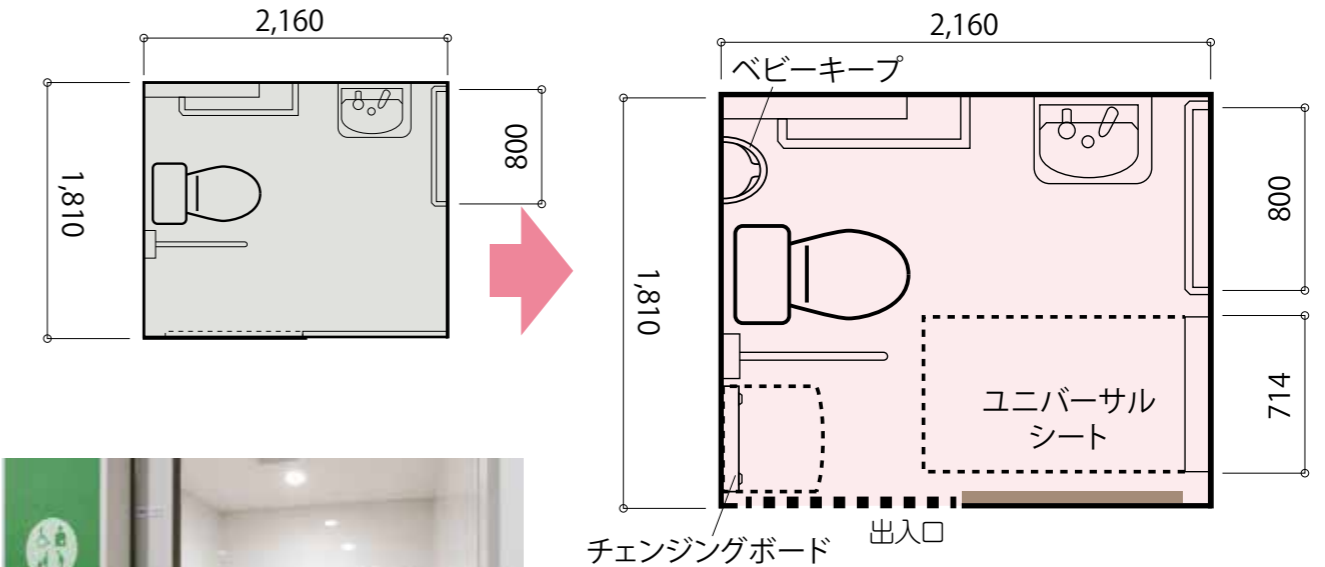


▲ベビーキープの設置位置は、便座の右手壁面、保護者の手の届く範囲(1,000mm以内)に設置。

◀自分で用を足せる上の子のための便座があればなお良い。



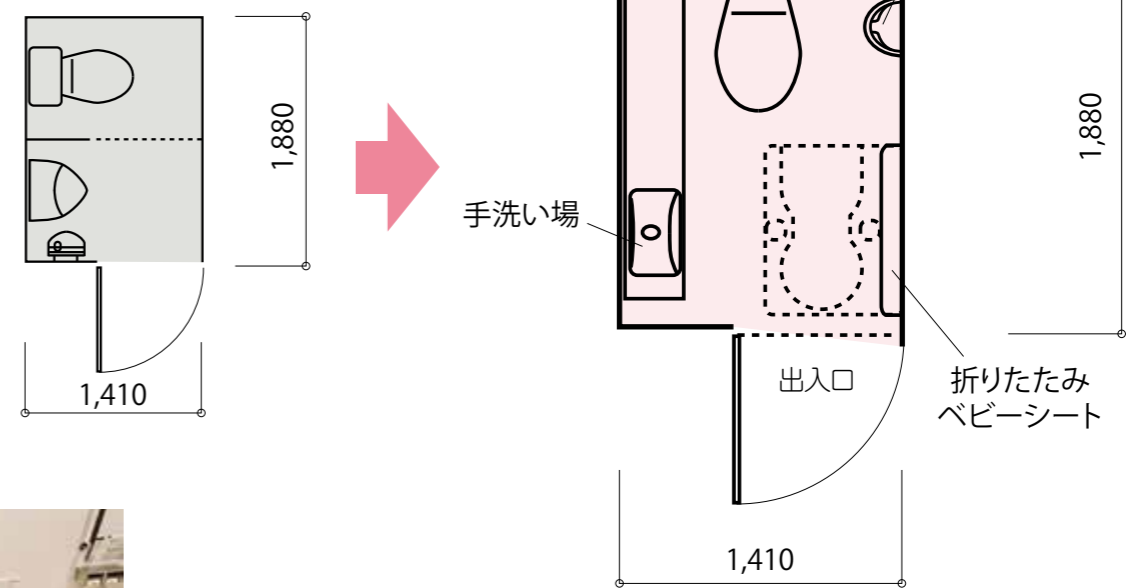
一般的な多目的トイレを 赤ちゃん連れを意識した空間にする場合



- ▲折り畳み式のユニバーサルシートは、おむつ替えにも対応できる。
- ▲ベビーキープは大人用便座から手の届く壁面に設置する。
- ▲おむつ替え後を考慮し、手洗い用のシンクがあると便利。
- ▲ベビーカーのまま入室できる広さを確保すると良い。

◀一定の広さが確保された多目的トイレは、赤ちゃん連れに対応しやすい。

男性用スペースを 赤ちゃん連れに改装する場合



◀限られた空間の場合、横づけタイプのベビーシートが有用。ただし、おむつ替え時の動きやすさを考慮し、600～1,000mmサイズのワイドなタイプを採用したい。

先駆的 事例 エスパル福島店

顧客の声に応え、バックヤードをベビールームへと新装

エスパル福島店は、親子連れ客のニーズの高まりに応え、2階のバックヤードスペースを改装しベビールームを新設。授乳スペース、男女トイレとも、より使いやすく快適な空間づくりを実現しています。



▲5フロアのうち、3フロアのトイレを親子連れに対応。ベビーカーの貸し出しも1～3階のフロアごとに利用可能。



▲[2種類のおむつ替え台]1歳児未満用の縦型と、1歳児以上で立ち替え用の2種類を配置。専用ゴミ箱を挟むことで、おむつ替え時の動きにくさを解消。後方にはベビーカー用スペースやソファも。



▲不意な動きで台からの転落を防ぐため、1歳以上のベビシートには安全柵を設けた。



▲[目的別のシンク]衛生的でより安心して使えるよう、調乳用の給湯器付シンクと、手洗い用シンクを別個に設置。



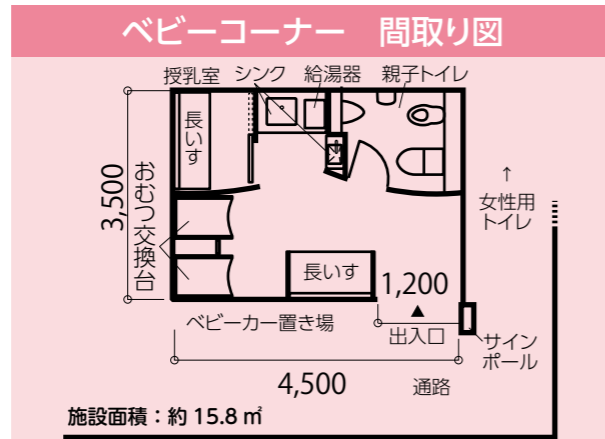
▲[親子トイレ]女性用トイレ内に子ども用便器・便座を設置。男児・女児とも一緒に利用できる。



▲[混雑を緩和する案内板]混雑緩和のため、プレートで別フロアの空間を告知。



▲[間接照明]仰向けになる赤ちゃんの目に直接光が入らないよう配慮。



その他の施設詳細	
おむつ替台(着せ替台)	2
授乳用イス	1
授乳専用個室	1
施設	○
授乳用温水器	○
シンク設備(温・水)	○
使用時間	営業時間内
使用済みのおむつの回収ボックスあり	

■デザイン・設計会社 設計事務所ゴンドラ 〒112-0003 東京都文京区春日 1-5-3 TEL.03-5805-3556

■施工会社 株式会社ボン・プロジェ 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1丁目 38-5 TEL.022-218-5721

■施工日数 約40日

(H24 国土交通省 高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準2.13F乳幼児等用設備より引用)

[参考資料]

- ・母乳及び哺乳びんによる授乳に対応した、授乳のためのスペースを設けることが望ましい。
- ・授乳のためのスペースは区切られた空間とし、授乳のためのいすを設置することが望ましい。
- ・授乳のためのスペースには、おむつ替えのための台等を適切に設けることが望ましい。
- ・出入口は、ベビーカーの利用に配慮した幅と、戸の形式とすることが望ましい。
- ・出入口付近には授乳のためのスペースである旨を表示することが望ましい。

●整備の配慮

- ・母乳による授乳のためのスペースは、カーテンやついたて等により、プライバシーを確保することが必要である。
- ・授乳のためのいすは、授乳の体勢が安定するよう、ひじ掛け、背もたれがついたものであることが望ましい。
- ・授乳のためのスペースには、荷物置き場や調乳のための給湯設備、哺乳びんの洗浄のための設備を設けることが望ましい。
- ・おむつ替えのための台や乳幼児用いす・乳幼児用ベッド等の配置は、ベビーカー等の通行を妨げないように配慮する。
- ・男性の哺乳びんによる授乳にも配慮し、内部の設備配置等の状況がわかるよう表示する必要がある。

●[授乳及びおむつ替えのため設備]

様々な機能をもつ授乳室の例

ベビーカーで授乳室内に入れる方が望ましい。

- ・ベビーカーから乳幼児を抱き上げて移動するより、ベビーカーごとの移動の方がスムーズ。
- ・授乳に必要なものをベビーカーに収納しており、近くにおいておきたい。
- ・荷物(購入した物品等)の盗難防止にも考慮したい。

共用スペースにいすを設置する。

- ・人工乳を与える際に男性でも利用が可能となるよう、哺乳びんを置く台などがあると便利。
- ・離乳食を食べさせたりするための子ども用いすがあるとよい。

おむつ替え台をニーズに合わせて設置する。

- ・利用ニーズに合わせた台数を設置する。
- ・広さにゆとりがあれば、トレーニングパンツ用(立った状態でおむつ替えが可能な高さが低い台)もあるとよい。
- ・おむつゴミはにおわないように工夫する。



長いすや肘掛けのついたいすが望ましい。

- ・肘掛けがあると授乳が楽になる場合がある。(クッション等による代替可能)
- ・長いすであれば上の子どもが腰掛けることが可能。
- ・背もたれがある方が授乳の体勢が安定する。

男性が入れない授乳(母乳)のためのスペースを設置する。

- ・授乳場所には男性が入れないように仕切りを設ける。内部の使用状況がわかるとよい。
- ・スペースに余裕があれば個室がよい。ただし、利用者が多く待ちが出る場合などは個室だけでなく共用の授乳スペースを設けることも有効である。

入り口

- ・スライドドアにするとともに、内部の様子がわかるようにする。

自販機等

- ・おむつや離乳食の自動販売機があると、足りない場合に一回分から購入できるので便利。
- ・ジュースなどの自動販売機や冷水器などがあると、ミルクを飲まない上の子や授乳で水分を多く必要とする母親にとって有効。

